第37回夏期哲学講座　日程と講座内容

時間	8月19日（土）	8月20日（日）	8月21日（月）
7:00		起床	起床
		7:00 朝食	7:00 朝食
8:00		7:45 坐禅会(希望者のみ) 8:30	自由
9:00		9:00 研究会Ⅰ（選択制）	9:00 研究会Ⅱ（選択制）
10:00			
11:00			
12:00	12:00 受付（～13:30まで）	昼食	昼食
13:00	12:30 ビデオ上映「西田幾多郎」（希望者のみ）	（続き） 14:30	（続き） 14:30
	13:30 開講式		
14:00	13:45 講演会Ⅰ（公開） 15:45	14:45 講演会Ⅱ（公開） 16:45	14:45 閉講式 15:15
15:00			
16:00	オリエンテーション		
	16:15 写真撮影・墓参	17:00 研究発表 18:00	落日拝
17:00			
18:00	17:45 落日拝・夕食（海岸）	夕食	
19:00			
20:00	入浴・自由討論		

公開講演会

※申込不要、受講生以外も聴講できます。（1回500円）

8/19(土) 13:45～　講演会Ⅰ　「禅の『十牛図』から見た種々の場所論
ー西田・西谷・上田の『宗教／哲学』ー」
森　哲郎（もり　てつろう）

8/20(日) 14:45～　講演会Ⅱ　「自覚から論理を見るー西田幾多郎の世界ー」
氣多　雅子（けた　まさこ）

講演会・研究会講師プロフィール

森 哲郎（もり てつろう）
京都大学大学院で学ぶ。京都産業大学教授。専門は宗教哲学・禅思想。著書『禅と京都哲学』（共著）等。

氣多 雅子（けた まさこ）
京都大学大学院で学ぶ。京都大学教授。専門は宗教哲学・浄土思想・ニーチェ。著書『西田幾多郎「善の研究」』等。

秋富 克哉（あきとみ かつや）
京都大学大学院で学ぶ。京都工芸繊維大学教授。専門は日本哲学・ハイデッガー。著書『芸術と技術ーハイデッガーの問い』等。

市川 秀和（いちかわ ひでかず）
福井大学大学院で学ぶ。福井工業大学教授。専門は建築論。著書『「建築論」の京都学派ー森田慶一と増田友也を中心として』等。

安部 浩（あべ ひろし）
京都大学大学院で学ぶ。京都大学教授。専門は哲学・ハイデガー。著書『現/そのロゴスとエートスーハイデガーへの応答』等。

大熊 玄（おおくま げん）
金沢大学大学院で学ぶ。西田哲学館副館長、立教大学准教授。専門は仏教学・西田幾多郎・鈴木大拙。著書『鈴木大拙の言葉ー世界人としての日本人』等。

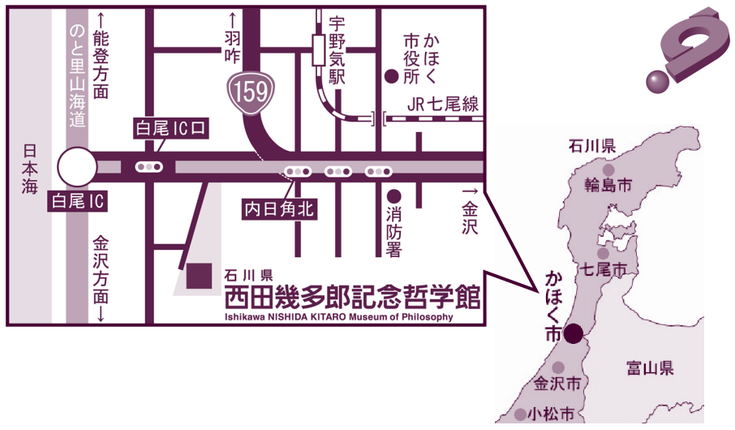
人は　どこから来て　どこへ行くのか――

あなたの周りには、哲学する場があるでしょうか
哲学について考え、語り合う場があるでしょうか

今年で三十七年目を迎えるこの夏期哲学講座は
直に人と出会い、人と対話して、
生きた哲学を学ぶことのできる講座です。

「少し興味があります」という方から
「長年、哲学を勉強しています」という方まで、
どなたでも参加できます。

場所は、日本最初の哲学者・西田幾多郎の故郷
日本海をのぞむ「哲学の博物館」
安藤忠雄が設計した、考えるための空間です。



石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy
〒929-1126
石川県かほく市内日角井1
TEL(076)283-6600 / FAX(076)283-6320
http://www.nishidatetsugakukan.org/
開館時間　9:00～21:00
休館日　月曜日（祝日の場合は翌平日）

交通アクセス
■車　利　用：北陸自動車道「金沢東I.C.」～約20分
のと里山海道「白尾I.C.」～約5分
■電車利用：JR金沢駅～IRいしかわ鉄道経由・
七尾線（25分）～宇野気駅

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

2017 第37回 夏期哲学講座

■日時　平成29年8月19日(土) 13:30 ～ 21日(月) 15:15

■会場　石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市内日角井1)

■定員　65名

■受講資格　18歳以上

■受講料　〔一般〕15，000円　〔学生／かほく市民〕10，000円
※20・21日の昼食と19・20日の夕食の計4回分の食事代が含まれます。
※学生割引については、科目等履修生(聴講生)は対象外とさせていただきます。
※宿泊を希望される方は、別途に宿泊費が必要となります。

■宿泊方法

◎ 合宿・概要：哲学館に隣接する「かほく市宇ノ気老人福祉センター」にて、大広間・中広間に男女に分かれて、蒲団を並べる「合宿」となります。お風呂は施設内の大浴場を利用できますが、洗面用具などはございませんので各自ご持参ください。
- 申込：講座申込時に「合宿を希望する」としてください。
- 定員：40名　※定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- 費用：2泊 5，000円　※20・21日の朝食、計2回分の食事代が含まれます。

◎ 旅館　旅館は各自でご予約ください。　参考までに、宇野気駅最寄りの宿名と電話番号を記載しますので、よろしければご利用ください。詳細は、直接宿にお問い合せください。

なごみ亭　(076)283-5550　〔JR宇野気駅から徒歩2分〕　※旧さか井や旅館

■交通アクセス

哲学館がある「かほく市」は、能登半島の根元、金沢市より20km北に位置します。
- 自動車：北陸自動車道(金沢東IC)から、国道159号線で七尾方面へ約20分。のと里山海道(白尾IC)から約5分。
- 電　車：JR金沢駅から、IRいしかわ鉄道経由・七尾線で宇野気駅へ約25分。宇野気駅から徒歩約20分(タクシー5分)。
- 飛行機：小松空港から空港バスで金沢駅まで約50分。金沢駅からは同上。

◎ 宇野気駅から哲学館まで、講座期間中は下記の無料送迎バスをご用意いたします。時間の都合が合うようでしたらご利用ください。

	〔行き〕宇野気駅発	〔帰り〕哲学館発
19日(土)	12:00、13:00	18:50
20日(日)	7:30、8:45	18:50
21日(月)	8:45	15:35

※バスの発着場所は、宇野気駅正面東口（銅像側）になります。
時刻が変更となる場合は、講座中にお知らせします。

■申込締切　平成29年7月30日(日)
※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

■申込先、お問合せ

石川県西田幾多郎記念哲学館
〒929-1126　石川県かほく市内日角井1番地
TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp

主催／西田幾多郎博士頌徳会、石川県西田幾多郎記念哲学館

■申込方法

下記①～⑪の項目を、全てご記入の上、哲学館までお申し込みください(郵便、メール、FAX可)。
申込受付後に、振込用紙をお送りいたします。　(＊マークは、いずれかをご記入ください)

①名前(ふりがな)　②電話番号 ※講座開始までの間に、必ず連絡がとれる番号をお知らせください。

③住所・郵便番号　④性別　⑤年齢　⑥参加回数　⑦職業 ※学生の方は、学生証のコピーを添付してください。

⑧「老人福祉センター」での合宿を　＊希望する／希望しない

⑨〔⑧で合宿を希望しない方のみ〕「宇野気駅～哲学館」の無料送迎バスを　＊利用する／しない

⑩坐禅会の出欠、および参加を希望する研究会を選択してください。(下記参照)
- ○(20日)坐禅会 ・・・・・・・・＊参加する／参加しない
- ○(20日)研究会Ⅰ ・・・・・・＊第1希望　A／B／C／D／E、＊第2希望　A／B／C／D／E
- ○(21日)研究会Ⅱ ・・・・・・＊第1希望　A／B／C／D／E、＊第2希望　A／B／C／D／E

※教室の人数調整上、第2希望を受講していただくことがありますので、ご了承ください。

⑪最近興味のある事・本、参加動機などを100字程でお書きください(研究会で自己紹介に使われることがあります)。

※上記項目のうち、出身都道府県および①⑥⑩⑪は、受講生に配布する冊子に記載させていただきますのでご了承ください。
また、この個人情報は、哲学館で開催される講座に関する当人へのご連絡以外の目的には使用いたしません。

◇受講生による研究発表が20日にあります。発表を希望される方はテーマをお知らせください。
※発表時間はお一人20分程となります。希望者が多い場合はお断りすることがありますのでご了承ください。

	講師	8月20日(日)　研究会Ⅰ	8月21日(月)　研究会Ⅱ
A	森哲郎	「日本文化」の不思議 －西谷「文化と自然」を読む－	講演「歴史的身体」(1937)を読む
	講師のコメント	西田の「日本文化の問題」(東西文化の相異)等を踏まえ、西谷の「道としての文化」等を合わせ読みしたい。「厳粛」(Ernst)と「遊び」(Spiel)との不思議な統合に新しい「文化」(cultus自得)探求を学びたい。	現代先端の「身体」の問題を先駆する「世界の自己表現」思想を探求する。論文「論理と生命」も参照しながら、驚くほど易しく独創的で生き生きした西田の思索に触れて「行為的直観の世界」に参究しよう。
B	秋富克哉	「住むこと」の哲学 －ハイデッガーの論考「建てる、住む、思索する」をもとに－	芭蕉の俳諧と実存
	講師のコメント	「功績に充ちて、けれども人間は、この地上に詩人として住む」。詩人ヘルダーリンの言葉をもとにハイデッガーが「住む」ことを考察した論考に沿って、私たちの最も基本的なあり方である「住」について考えます。	芭蕉の紀行文(『おくのほそ道』『幻住庵記』等)をもとに、その俳諧の世界に触れながら、人間芭蕉の一所不住としての生き方に迫ってみたいと思います。西谷啓治の白眉の芭蕉論も参照するつもりです。
C	市川秀和	現代建築における人間・技術・環境 －西田哲学館と鈴木大拙館を事例にして－	住まいに写し出された生死の在り処 －西田幾多郎旧宅調査をとおして－
	講師のコメント	自然素材を使う伝統建築に対し、コンクリート・ガラス・鉄の人工材料による近代建築は利便性・経済性を優先し、人間・技術・環境の様態が変貌しました。その後の現代建築の動向も合せて、2つの記念館から考えます。	人は誰でも両親のもとで誕生し、一つ屋根の下で家族となって暮らし、さまざまな出来事を経験して、それぞれの生涯があります。人生の日常と悲哀を思索した西田幾多郎の旧宅調査から、住まいの持つ意味を考えます。
D	安部浩	和辻倫理学入門 －『人間の学としての倫理学』を読む－	永劫回帰と久遠の今 －九鬼周造「形而上学的時間」を読む－
	講師のコメント	日本哲学の精華の一つ、和辻倫理学。それは今日の我々にとっていかなる糧になりうるのでしょうか。初期の仏教研究からの転回や、主著『倫理学』への展開にも可能な限り目配りをしつつ、大いに議論致しましょう。	輪廻転生思想の復古という時代錯誤の愚挙か。ベルクソンらの時間論の難点を逸早く克服せんとした当時の最先端を行く壮挙か。幽遠深邃な趣を湛えつつも、人生いかに生くべきかを説いて已まぬ九鬼時間論の神髄とは？
E	大熊玄	『善の研究』「意志の自由」を読む	「般若心経」を原文から読む
	講師のコメント	もし人に「自由な意志」がなければ倫理も責任も成り立ちません。しかし、そもそも私たちの意志は自由なのでしょうか。あるいは全てが因果の鎖にからめとられているのでしょうか。意志の自由と必然について考えます。	大乗仏教思想の最も短い要約とされる「般若心経」。その原文(サンスクリット語)の文法や語彙を簡単に解説しつつ、玄奘訳(漢文)と日本語訳を比べながら読み、般若(智慧：プラジュニャー)とは何かを考えます。

※研究会で使用するテキストは、主催者側で用意します。